

社会資本総合整備計画(地域住宅支援)

はぎし 萩市 れきしてき における けいかん 歴史的 かんきょう 景観 せいび 環境整備

はぎし  
萩市

平成23年3月

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）

平成23年3月17日

計画の名称	1 萩市における歴史的景観環境整備		
計画の期間	平成23年度～平成25年度（3年間）	交付対象	萩市

『歴史的風致形成建造物等やその周辺環境の整備を行うことで、歴史的景観の保存や住環境の向上を図り、それらを活用することにより地域固有の魅力あるまちづくりを進め定住の促進を図る。』

計画の成果目標（定量的指標）  
 歴史的風致形成建造物の整備数の増加  
 歴史的風致形成建造物及び周辺整備による交流人口の増加  
 地域固有の魅力的なまちづくりを行うことによる他地域からの定住者数の増加

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H25末)	
歴史的風致維持向上計画に掲載されている歴史的風致形成建造物の件数（候補数も含む）、整備件数から算出する。 （歴史的風致形成建造物の整備率（%））＝（整備実施件数）／（歴史的風致形成建造物の件数（候補数も含む））	18.1%		31.8%	歴史的風致形成建造物の整備実施件数は、他補助事業（歴史的環境形成総合支援事業）によるものを含む。
旧城下町及びその周辺区域の文化財施設の入場者数から算出する。 対象施設5施設の入館者数の合計の推移を、平成23年度見込人数から3%の増加を目標とする。	100.0%		103.0%	
定住対策支援による空き家バンク等を利用して他地域から定住した人数から算出 平成18～22年度現在における平均定住者数の5%増加を目標とする。	100.0%		105.0%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	78百万円	A	74百万円	B	C	4百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	5.1%
-------	---------------	-------	---	-------	---	---	------	---------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業											全体事業費 (百万円)	備考		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)						
								H23	H24	H25	H26	H27		
1-A1-1	住宅	一般	萩市	直/間	市/団体	旧城下町及び周辺地区街なみ環境整備事業	案内看板設置 35箇所 歴史的風致形成建造物整備(助成) 1件						74	
						萩市においては、歴史的景観を活かしたまちなみ整備等を行う場合、旧城下町やその周辺を一体として行っている。これは、本市の発展の歴史的背景や、「萩まちじゅう博物館構想」をまちづくりの基本としていることによる。よって、事業促進区域は、「旧城下町及び周辺地区」とする。	合計					74		

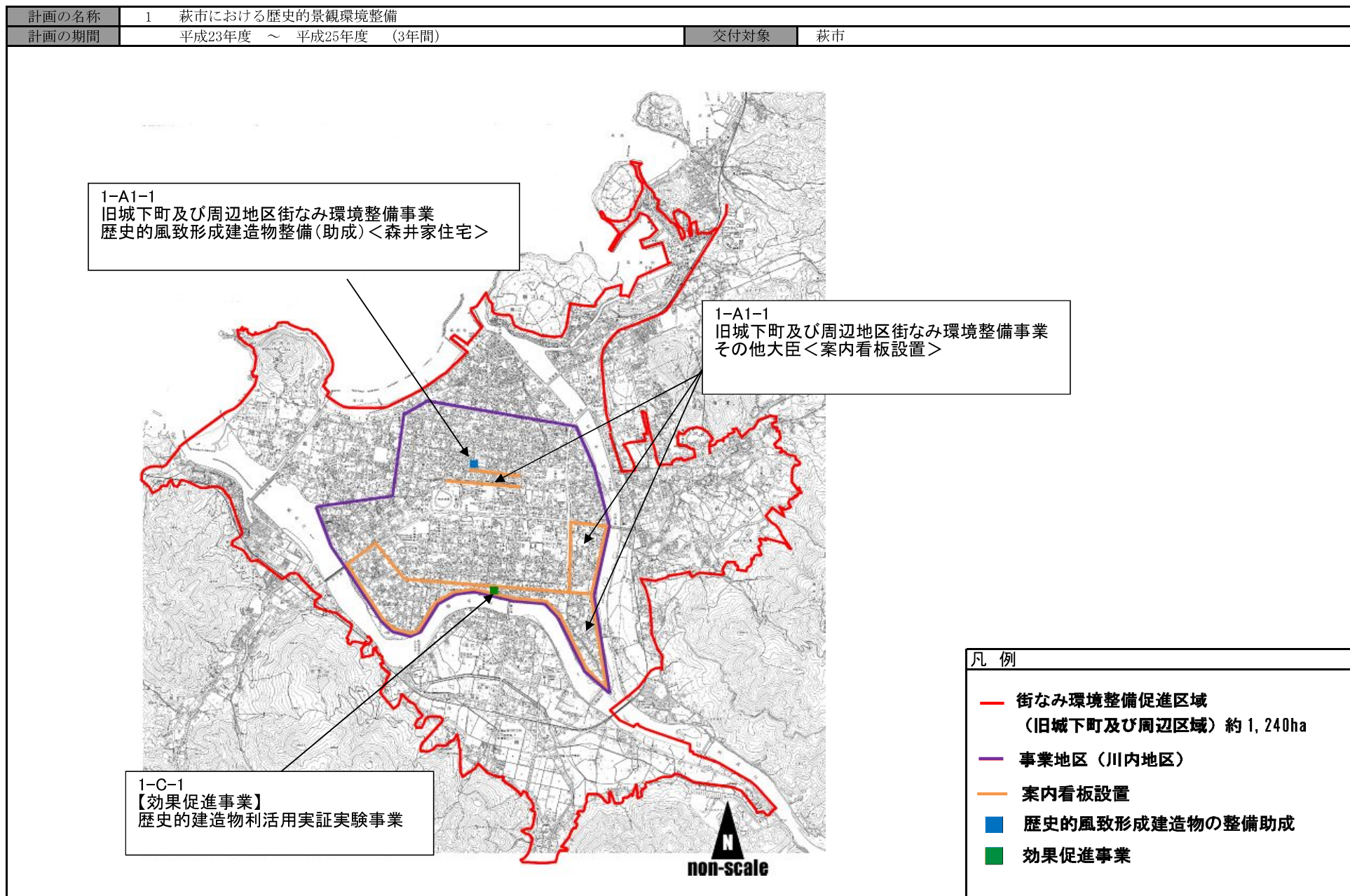
B 関連社会資本整備事業											全体事業費 (百万円)	備考		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)				
								H23	H24	H25	H26	H27		
合計											0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考
1-B1											

C 効果促進事業											全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					
								H23	H24	H25	H26	H27			
1-C-1	社会実験	一般	萩市	直接	市	社会実験	歴史的建造物利活用実証実験事業	渡辺蕎蔵旧宅を利用したカフェなどの実証実験とそれに伴う設備整備						4	
合計											4				

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考
1-C-1	住宅事業(1-A1-1)と一体に河川沿いにある歴史的建造物等観光施設の中心にある渡辺蕎蔵旧宅を、萩の歴史を味わえる施設として利活用することによって、観光客増加にどの程度資するか検証する。										
1-C-2											

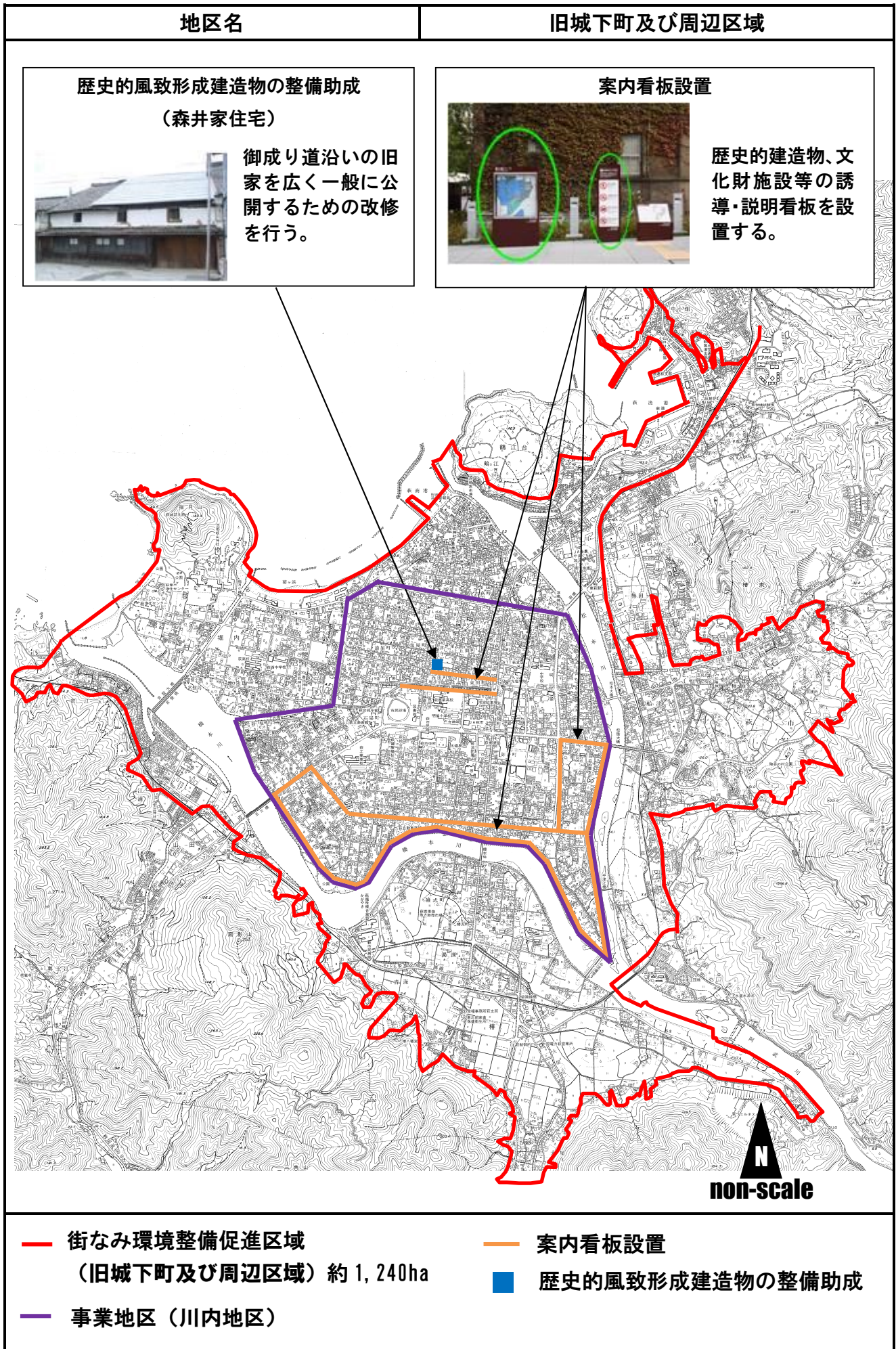
(図面) 社会資本総合整備計画 (地域住宅支援)



街なみ環境整備方針説明書

都道府県名	山口県	市町村名	萩市	区域名	旧城下町及び周辺地区	
区域現況	区域の概況	本区域は、現在の萩市の中心市街地とほぼ重なり、毛利藩政期260年間に形成された城下町のたたずまいや町割りなどが今日まで継承されており、歴史的に価値の高い建造物が集中的に存在している。しかし、近年老朽化等により急速に失われている現状である。				
	道路の現況	城下町地区の街路は、お成り道の一部をなす呉服町の通りを中心とした東西方向の通りを基軸に基盤の目状に配され、通りの両側に各町が形成され、現在でも大半がそのままの幅員で市街地の街路として継承されている。幅員は狭いが、周辺幹線道路に通じており、市民の日常的な交通路として、観光客の主要観光ルートとして利用されるため、交通利用量が多い状況である。				
	公園等の現況	旧萩城跡のある「指月公園」、旧城下町の近くに位置する「中央公園」、幕末維新に関連する国指定史跡「松陰神社」などの近くに位置する「陶芸の村公園」や他に12箇所の街区公園がある。また、平成22年に「唐樋札場跡」が歴史的環境形成総合支援事業で整備を完了した。				
	地区住民のまちづくり活動の概要	萩市のまちづくりの基軸である「萩まちじゅう博物館」を推進する市民団体である「NPOまちじゅう博物館」を中心として、浜崎重要伝統的建造物群保存地区の保存活用を行っている「浜崎しっちゃん会」や、市内文化財施設の管理やガイド等を行っている「NPO萩観光ガイド協会」が、魅力あるまちづくりに努めている。その他にも、地域が持つ歴史的特性をまちづくりに活かそうとする市民活動が活発に行われている。				
区域の整備に関する基本計画	整備の目標	歴史的建造物等の復原、修理等や周辺環境の整備を行い、活用することによって、歴史的町並み、景観の保存及び良好な景観環境の形成を図り、魅力あるまちづくりを推進する。				
	整備の時期	平成23年度～25年度の3年間				
	地区施設等の整備に関する基本事項	通路等	歴史的まちなみが残る区域では、歴史的・文化的価値に配慮しつつ周辺環境との調和した道路景観の整備を行う。また、市民及び観光客のために、安心安全な交通路を確保し、回遊性の向上を図る環境整備を行う。			
		小公園等	萩の歴史的遺産と調和した景観形成に努めるとともに、市街地における良好な都市環境に資する公園の整備を検討する。			
		その他	歴史的建造物の周辺地域については、都市計画法、萩市景観条例、萩市屋外広告物等に関する条例に基づき、これらと調和した環境、景観の規制及び誘導を行う。また、河川沿いの遊歩道等に案内看板を設置することによって、歴史的建造物や文化財施設等を結ぶルートを整備しネットワークの形成を図り、市民や観光客の利便性を図る。			
	住宅等基本整備に関する事項	住宅・敷地	萩市景観条例に基づく、萩市景観計画の景観規制基準により、規制、誘導を図る。 歴史的建造物等については、歴史的景観に調和したものとする整備を図る。 夏みかんの植栽など歴史的景観と調和した植栽を行い、緑豊かな住環境の整備を図る。			
その他の事項						

【整備方針図】



- 街なみ環境整備促進区域  
(旧城下町及び周辺区域) 約 1,240ha
- 事業地区 (川内地区)

- 案内看板設置
- 歴史的風致形成建造物の整備助成

【位置図・区域図】

